

もっと広がる  
◆**クサリの世界**

HPVワクチン  
キャッチアップ接種

ワクチンとはウイルスや細菌の毒性をなくしたり弱めたりしたものです。接種することでそれらの病原体の感染に対する免疫システムを体内で準備し、感染症に備えることができます。2021年に始まった新型コロナウイルスに対するワクチンを接種された方も多いと思います。

ワクチンの中にはがんの発生を抑えるワクチンもあります。それが、小学6年生から接種できるHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンです。H

計3回、夏までに開始を

PVへの感染が子宮頸がんの原因になっていることが分かっています。HPVワクチンを接種することでHPV感染を予防し、子宮頸がんの発症を抑えることができます。子宮頸がんやその前の段階(子宮頸部異形成)は20~30歳代で多く発症し、発症すると妊娠や出産に影響を及ぼす可能性のある病気です。

日本では13年4月よりHPVワクチンの定期接種が開始となりました。しかし、痛みや運動障害といった多様な副反応が報告されて、13年6月に積極的勧奨を差し控えるということになりました。その後の大規模な検討の結果、HPVワクチンと多様な副反応には因果関係がないことが分かり、22年4月より個別勧奨が再開されました。

ですが、日本のHPVワクチン接種率は世界の後進国と言えます。積極的

勧奨が差し控えられた期間に接種機会を逃した方のために、現在、無料の「キャッチアップ接種」が行われています。1997~2007年度生まれで、過去にHPVワクチンの接種を計3回受けていない女性が対象です。

無料で接種できる期間は25年3月までです。HPVワクチンは計3回の接種が必要で、3回目が終了するまでに6カ月が必要です。つまり、無料の接種期間が終了するまでに3回の接種を終えるためには、今年の夏休み中に接種を開始する必要があります。

まだ接種していない方は、ご家庭やご友人たちとでHPVワクチンについて話をしてみてもはいかがでしょうか。接種をした方は、友人に声をかけて一緒に子宮頸がんを予防しませんか。

(宮本 康敬・県病院薬剤師会理事)

<毎月第4火曜日に掲載>